



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月6日

上場会社名 株式会社アイビー化粧品
 コード番号 4918 URL <http://www.ivy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白銀 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理部 部長 (氏名) 中山 聖仁
 兼 経営管理部 部長 TEL 03-6880-1201
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	447	6.4	△512	—	△516	—	△354	—
30年3月期第1四半期	420	38.5	△631	—	△631	—	△442	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△92.24	—
30年3月期第1四半期	△115.08	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
31年3月期第1四半期	5,864		1,034		17.6
30年3月期	7,183		1,783		24.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 1,034百万円 30年3月期 1,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	50.00	—	100.00	150.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期（予想）	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,900	△15.0	400	△13.5	400	△14.1	250	41.3	65.00
通期	5,700	1.3	700	357.0	700	341.6	400	591.1	104.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	5,104,000株	30年3月期	5,104,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	1,257,711株	30年3月期	1,257,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	3,846,289株	30年3月期1Q	3,846,788株

(注) 期末自己株式数には、「従業員向け株式交付信託」が保有する当社株式（31年3月期1Q 68,925株、30年3月期 68,925株）、及び「役員向け株式交付信託」が保有する当社株式（31年3月期1Q 48,500株、30年3月期 48,500株）が含まれております。また、「従業員向け株式交付信託」が保有する当社株式（31年3月期1Q 68,925株、30年3月期1Q 0株）、及び「役員向け株式交付信託」が保有する当社株式（31年3月期1Q 48,500株、30年3月期1Q 0株）を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期連結財務諸表について）

当社は、平成30年3月期では連結財務諸表を作成していましたが、平成30年3月に連結子会社であった株式会社アイブラティナの清算決議を行い、現在当該子会社は清算手続きを進めております。四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、当該子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものであります。平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表は作成せず、平成30年3月期第1四半期及び平成31年3月期第1四半期並びに平成30年3月期の経営指標等については、連結ベースではなく、個別ベースにより記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の継続推進を背景に、個人消費や投資の増加、雇用の高水準推移のもと、緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のもとで、当社は企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、すべてのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

平成30年度は、「私はアイビー」という当社の訪問販売にかかわる方が、当社の目指す志や生き方を自身の生き方と捉えて誇りと喜びをもち、「日本の女性の肌を常に美しくし続けること」を通して、より魅力のある企業に成長するため「当社独自のビジネスモデルへのこだわり」、「美容液のトップブランド化」、「地域に根差した活動」を通して、Face to Faceの信頼の上に成り立つ理念型販売組織づくりを経営方針として推進、展開してまいります。

当第1四半期会計期間においては、発売3期目となるレッドパワー セラム商戦に向けての準備として、戦略カテゴリー別の販売組織づくりアプローチ、販売組織の稼働率向上、及び教育機会の拡大を推進してまいりました。また、平成30年6月に、肌本来の姿を見つめることで、輝くような透明感のある肌を目指す美白シリーズ「リ ホワイト クリアアップ ローション」（医薬部外品）、「リ ホワイト クリアアップ クリーム」（医薬部外品）を新発売し、販売強化を展開してまいりました。しかしながら、当第1四半期会計期間は新製品発売があったものの、販売組織在庫の販売強化に傾注したため、売上面におきましては、ほぼ前年同四半期並みで推移しました。

利益面におきましては、経費使用方針に基づく予算差異管理を徹底して行った結果、販売費及び一般管理費は予算範囲内、かつ前年同四半期内に抑えることができ、営業損失、経常損失、四半期純損失とも損失幅が縮小しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高447,655千円（前年同四半期比6.4%増）、営業損失512,847千円（前年同四半期は営業損失631,124千円）、経常損失516,549千円（同経常損失631,278千円）、四半期純損失354,773千円（同四半期純損失442,689千円）となりました。

なお、当社は平成30年3月31日付で子会社を解散しておりますので、平成31年3月期より非連結決算に移行しております。また、当社の事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は3,072,199千円(前事業年度末は4,493,646千円)となり、前事業年度末に比べ1,421,446千円減少しました。これは主に、前事業年度末に計上した受取手形及び売掛金が当第1四半期会計期間に回収され、受取手形及び売掛金が1,383,148千円減少したことによるものであります。また、平成30年3月に解散決議した連結子会社であった株式会社アイプラティナに対する債権、及び当該債権に係る貸倒引当金を、前事業年度末まで計上しておりました。平成30年6月に全額債権放棄することを決議し、当第1四半期会計期間に関係会社短期貸付金等と貸倒引当金とを相殺しております。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は2,770,569千円(同2,664,638千円)となり、前事業年度末に比べ105,930千円増加しました。これは主に、当第1四半期会計期間に税務上の欠損金を計上し、繰延税金資産が141,489千円増加したことによるものであります。

(繰延資産)

当第1四半期会計期間末における繰延資産の残高は21,302千円(同24,812千円)となり、前事業年度末に比べ3,509千円減少しました。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は3,156,866千円(同3,642,482千円)、前事業年度末に比べ485,615千円減少しました。これは主に、前事業年度末に計上した支払手形及び買掛金が決済され及び支払われ、支払手形及び買掛金が384,956千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は1,672,698千円(同1,757,114千円)となり、前事業年度末に比べ84,415千円減少しました。これは主に、当第1四半期会計期間に社債が定時償還され、長期借入金が定時返済され、社債が88,000千円、長期借入金が15,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,034,506千円(同1,783,500千円)となり、前事業年度末に比べ748,994千円減少しました。これは主に四半期純損失を354,773千円計上し、利益剰余金を396,371千円配当したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、17.6%(同24.8%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、強化製品「レッドパワー セラム」「ホワイトパワー セラム」の拡販、ならびに販売組織拡大をもとにしたレギュラー売上の拡大を行ってまいります。

今期においては、各種研修動員数、営業所増設や販社実売が順調ではありますが、販売組織が持っている「レッドパワー セラム」の在庫水準が高いことから、当期の当社の売上については前期並みになる前提で慎重に考えております。また、経費節減に努め、財務基盤の健全化を行ってまいります。

以上の見通しを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも、平成30年5月15日に開示しました業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	163,647	121,588
受取手形及び売掛金	2,342,131	958,983
商品及び製品	896,073	935,558
仕掛品	10,352	13,274
原材料及び貯蔵品	624,165	645,377
関係会社短期貸付金	462,197	-
未収還付法人税等	292,894	290,338
その他	215,992	169,965
貸倒引当金	△513,808	△62,886
流動資産合計	4,493,646	3,072,199
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	300,424	296,302
土地	521,190	521,190
その他（純額）	134,286	161,618
有形固定資産合計	955,901	979,110
無形固定資産		
投資その他の資産	79,721	82,144
前払年金費用	385,887	394,582
繰延税金資産	292,023	433,512
投資不動産（純額）	397,111	394,949
差入保証金	327,859	325,886
その他	321,966	246,690
貸倒引当金	△95,832	△86,307
投資その他の資産合計	1,629,016	1,709,313
固定資産合計	2,664,638	2,770,569
繰延資産		
社債発行費	24,812	21,302
繰延資産合計	24,812	21,302
資産合計	7,183,097	5,864,071

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	670,786	285,829
短期借入金	1,310,000	1,310,000
1年内償還予定の社債	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
株式給付引当金	55,687	83,570
賞与引当金	43,593	54,128
返品廃棄損失引当金	4,612	4,612
その他	697,802	558,725
流動負債合計	3,642,482	3,156,866
固定負債		
社債	1,496,000	1,408,000
長期借入金	210,000	195,000
役員株式給付引当金	22,989	42,146
その他	28,125	27,552
固定負債合計	1,757,114	1,672,698
負債合計	5,399,596	4,829,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	1,064,970	1,064,970
利益剰余金	2,951,092	2,199,947
自己株式	△2,933,505	△2,933,505
株主資本合計	1,886,757	1,135,612
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,614	16,765
土地再評価差額金	△117,871	△117,871
評価・換算差額等合計	△103,256	△101,105
純資産合計	1,783,500	1,034,506
負債純資産合計	7,183,097	5,864,071

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	420,536	447,655
売上原価	131,805	124,037
売上総利益	288,731	323,618
販売費及び一般管理費	919,855	836,465
営業損失(△)	△631,124	△512,847
営業外収益		
受取利息	6,704	5,893
受取配当金	437	374
受取賃貸料	6,720	10,552
業務受託手数料	896	924
雑収入	3,024	3,802
営業外収益合計	17,784	21,548
営業外費用		
支払利息	2,907	5,546
貸貸収入原価	9,858	11,634
雑損失	5,172	8,069
営業外費用合計	17,938	25,250
経常損失(△)	△631,278	△516,549
特別利益		
保険解約返戻金	-	19,443
貸倒引当金戻入額	5,000	3,513
特別利益合計	5,000	22,956
税引前四半期純損失(△)	△626,278	△493,592
法人税、住民税及び事業税	2,977	3,715
法人税等調整額	△186,567	△142,534
法人税等合計	△183,589	△138,818
四半期純損失(△)	△442,689	△354,773

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期累計期間において、四半期純損失354,773千円及び配当金支払額396,371千円を計上しました。この結果、当第1四半期累計期間において、利益剰余金が751,145千円減少し、当第1四半期会計期間末において、利益剰余金が2,199,947千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、化粧品製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。